

GENOA NEWS



ニキビ・吹きで物は困りもの?

ニキビ・吹きで物とその対策

新種?のニキビ・吹きで物がはやっている。最近のニキビは、昔とちがって治りにくいという皮膚科のはなしを聞いた。

「30歳になりますが、ニキビが治らないのです」「30歳でニキビだなんて、お若くてうらやましい」さて、この会話はどこかかみ合わない。何がどうなっていて、どうしたらいいのでしょうか?

ニキビ・吹きで物とその対策

〔検証その1〕 毛穴の中がアカになる！

毛穴の内壁は角質層の延長。

だから、アカが出ても不思議ではありません。

①人間の遠い祖先はハエ類。その皮膚は平らだった。

②しかし、地球が氷河期に入って保温のため、

毛や脂を出す凹みができた。

そんな大切な凹みが人によりアカになるのは
先祖帰りか偏食です。



〔検証その2〕 味方の皮脂が敵になる！

なぜニキビになるのか？

皮脂は毛穴に沿って皮膚の外に出てきます。

そして、皮膚の表面に分布、皮脂膜として皮膚の健康を守っています。

皮脂は天然のクリーム。美容の基本は脂です。

しかし……

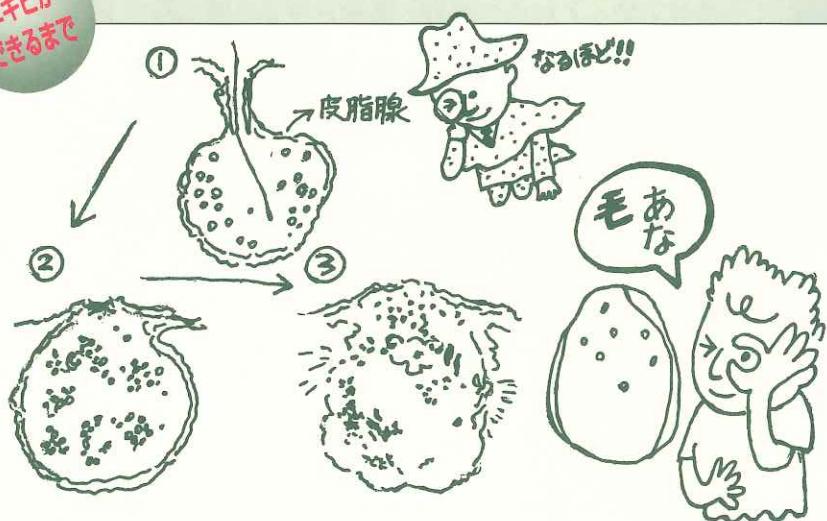
毛穴の内壁にアカができたら、どうなるでしょう？

出口がふさがって皮脂は毛穴の中に溜まってしまいます。
このとき味方のはずの皮脂が敵になりニキビ・吹きで物になってしまします。

表・真皮の
しくみ



ニキビができるまで



1. 内壁の角化異常（毛漏斗の角化亢進）～ニキビの初期（面ポウ）
2. 皮脂の出口がふさがって毛穴が風船になる。～ニキビ（発展した面ポウ）
3. 菌が繁殖して化膿する…大切な皮脂が原因
皮膚に常在するニキビかん菌やブドウ球菌が化膿菌と化す。
このとき丘疹が膿ホウへ。（毛のう炎）

十代初期から思春期にかけて1、2の状態になる人が
あり、俗にニキビといいます。

毛穴の中で皮脂の一部は脂肪酸になりますが、脂肪酸の刺激毒はアカ（角質）を作るエネルギーでもあります。
大切な角質層を作るための物質がニキビの原因にもなります。ニキビを作るから脂肪酸は毒だ、などというわけではありません。

一方、毛穴にブドウ球菌が感染して化膿する毛のう炎もあります。ニキビの化膿と同様、脂質を好餌とする菌の繁殖によるもので、俗に吹きで物ともいいます。

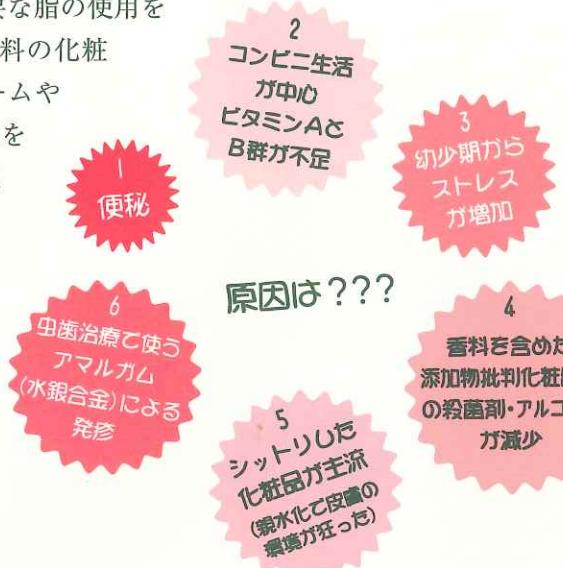
ニキビも吹きで物も毛穴近くの脂を起点としているので、化膿してふくらむと毛のう炎と呼ぶものと同じです。化粧品との相互関係を考えると、この場合、化粧品の鉱物油が多いほど吹きで物になりにくいといえます。菌類も鉱物油は食べないからです。



皮脂の出口がふさがれて出来るニキビ、皮脂の出口に、ブドウ球菌が感染してできる吹きで物。みな自然にできるもの、昔から存在していました。しかし、これらが近年多発しはじめ、かつ異様に治りにくくなつたのは、激変した現代の生活環境にあるにちがいありません。想定される原因を探ってみましょう。

図の1は2や3と関連して複雑です。また数年前には種と栽培法の変化によってほうれん草のビタミンCが本来の60mg%から20mg%程度に激減した、というテレビ報道がありました。ビタミンCは健康と美容の大根幹です。

4と5について、殺菌・防腐剤が必要な脂の使用をやめて合成樹脂にすれば無添加・無香料の化粧品ができます。急成長した某社がクリームや乳液の基剤にしたのは皮膚の水溶性化を促進し、皮膚環境を変えるアクリル系の樹脂でした。中でも、水溶性化したアクリルアミドは皮膚浸透の恐れのある毒物が混入しうる樹脂ですが、これら生体の代謝に関係の深い窒素系化合物が原因不明の吹きで物やニキビを誘発する恐れもあります。ニキビや吹きで物の原因は、ひどく複雑になっているのです。



原因の逆をするしかありません。

- 1・2 ⇒ ビタミンAを積極的に摂る。また野菜繊維・乳製品を摂り、体を動かして便通をよくする。
- 3 ⇒ 気持ちをのんびり、カルシウムを十分に摂る。
- 4 ⇒ 時には化粧品の殺菌防腐剤も利用して。
- 5 ⇒ 化粧品は基剤を中心に選択を正しく。
- 6 ⇒ 化膿したときは化膿止め軟膏を用いる。

※軟膏は皮膚科や薬局によく相談して、原因の菌類から殺菌剤の軟膏を選んでください。

鉱物油って どんなもの



化粧品には多くの油が利用されています。およそ鉱物油・植物油・動物油およびその化合物に分類されます。しかし、「鉱物油」については、食品関連を含め各方面から様々な情報や憶測が飛び交っています。果たして、実際は…?

●不純物の残留表

基準をクリアした流動パラフィンでも不純物が若干残る。皮膚の環境は親油性で、油は水溶性物質より皮膚によく馴染む(浸透しやすい)ことと、不純物が有する皮膚刺激性・毒性(不純物の部分が酸化を促進したりする等)から流動パラフィンについて様々な見解が生じている。しかし、ゼノアは40年前から極限まで不純物が除去された流動パラフィンを使用している。

不純物の種類	A	B
レジン	▲	○
イオウ化合物	○	○
酸化化合物	▲	○
窒素化合物	○	○
芳香族炭化水素	▲	○
環状炭化水素	▲	○
水分 ppm.	○	○

○:問題なし ▲:やや影響あり ●:影響あり

【薬剤師の立場から】～豊島区駒込駅東口 田中薬局へ取材～
薬局(薬剤師)の立場上、どうしても吹きで物や化膿が治らない場合の対処を考えますが、基本的には規則正しい日常生活、バランスの良い食生活、適当な運動等、人が生きていく上の原点を大切にすることがあくまでも前提になければなりません。

治ったらこれら抗生物質の使用をやめ、しばらく殺菌剤を含む化粧水くらいで我慢しましょう。
そしてニキビや吹きで物にさようならを言えるようになつたら、自然の脂質を取り入れた化粧品にもどればいいのです。もちろん、便秘や食生活を正した上で、です。

●化粧品に使用される流動パラフィン

化粧品に使用する鉱物油としては流動パラフィン(ミネラルオイル)やワセリンが有名です。今回はそういった油を製造・販売しているN社の協力を基に流動パラフィン(以下、パラフィンと省略)のおはなしをします。

N社の例をとると、化粧品に使用するパラフィンは「食品添加物規格」「日本薬局方規格」「化粧品原料基準」(食添・薬局方・粧原基)をクリアしたパラフィンを製造・販売しています。この他に、JIS規格に準ずる特級・1級等の基準を引き合いに出す場合もあるようですが、これは工業用途のパラフィンに準備された基準で皮膚に塗布したり食べたりするための安全基準ではありません。もちろん化粧品の転用には適しません。

仮に商品としてパラフィンA、Bがあるとします。両者とも上記3つの規格をクリアしているパラフィンです。これほど精製度の高いパラフィンでもAだとわずかに不純物が残留し、検出されます。しかし、Bは更にすべての不純物を検出出来ないレベルの超精製パラフィンです。

前述の通り、流動パラフィンには精製度・基準の相違でランクが存在します。これからわかるることは、食添・薬局方・粧原基をクリアした流動パラフィンでも不純物が若干残ってしまっているということです。ほとんどの化粧品メーカーはこのランクの流動パラフィンを使用しています。次に示したのは流動パラフィンの需要と流通についての調査結果です。

- (1) N社製造における
流動パラフィンの化粧品用途への割合 約24%
- (2) 同流動パラフィンのうち超高純度精製流動パラフィンの
化粧品用途への割合 約1.1%
- * ちなみに日本国内でこの超高純度精製流動パラフィンを製造しているのは、私たちの調査ではN社1社のみです。



取材協力・連絡先：ゼノア 福岡販売株式会社
福岡市南区塩原2-6-3
Tel.092-552-5518 Fax.092-552-5417
<http://www.genoa-fukuoka.co.jp/>

●このコーナーはゼノアに関係する人たち、読者のみなさんの投稿を掲載していきます。個人の体験談やPRしたいこと等ございましたらお気軽にご連絡ください。出来るだけ多くの投稿を掲載していきます。(投稿が多い場合は掲載できないことがあります。あらかじめご了承ください。)

Topics ● ● ● ●

ゼノアグラモール マスカラ <ブラック> 定価 2,300円

マスカラにまつ毛のいたわりを求めました。

目もとにつけるマスカラ……

だから安全なものを選びたい。

- * 目もとを大切にする為に成分の種類を選択しました。
- * まつ毛1本1本を長く、やさしく際立たせるナチュラルなマスカラです。
- * 合成界面活性剤、溶剤は使用していません。



- (1)はN社が化粧品用途に製造している流動パラフィンの割合で、
(2)はそのうち超高純度精製された流動パラフィンの割合です。

つまり、ゼノアが使用している超高純度精製流動パラフィンの需要はわずかに1.1%でしかないということ、そして、その最大の顧客はエステ業界であることがわかりました。次が、おそらく化粧品業界で、大手諸メーカーもこの原料メーカーから購入しているようです。しかし、割合を考慮した場合、大手諸メーカーの用途はほとんどが製品用ではなく実験用であると思われます。

おそらく、ここまでこだわった超高純度精製流動パラフィンを化粧品に実用しているのはゼノアが唯一なのではないでしょうか。

福岡市 北園 美地子さん(60才)
美佳さん(30才)

私は小学生の頃からひどいくせ毛でいつも友達から髪のことからかわれ、いやな思いをしていました。高校3年の時、母にすすめられて「リトル東京ヴォーグ」に出かけた時がゼノアとの出会いです。

母も若い時から私以上のくせ毛で、髪も多く、短く切ることも抵抗があり、いつも悩んでいたそうですが15年前、友人の「ヴォーグ先生は縮毛矯正でくせ毛をなおしてくれるみたいよ」の一言で行ってみようと思い、いろいろなお話を聞きながら頑張ったかいあって、今では思うままにショートカットをしてもらえると喜び、そして、若返っています。それで、私もゼノアの石けんシャンプーを使いながら矯正を続けることにしました。途中、他の商品を使ったこともありますが、いつの間にかゼノアに戻っていました。その都度改めて、ゼノア化粧品の良さに気付かされました。

おかげさまで、今は信じられないほどキレイな髪になり、オシャレを楽しんでいます。これからもヴォーグ先生のお世話になりながらゼノアを、母と一緒に使い続けていきたいです。

【編集長 小澤王春】

ニキビが治りにくいと言われ始めて十数年になる。吹出物もふえた。改めて「ニキビや吹出物は便秘を治せ」という父の言を思い出す。忙しくて家庭料理ができない? でも週2、3回ならできるのでは?

【編集スタッフ 石塚真美】

不規則な生活と間違った化粧品選びがそのままお肌にあらわれる。ニキビや吹き出物は、からだが発する注意報のようなものです。“不規則な生活”という点は私も少々耳が痛い…反省しなくては。

【編集スタッフ 森脇智泰】

ニキビ…。季節柄でしょうか、一つの言葉が妙に感慨深いものになっています。僕のニキビはいつも頃見えなくなってしまったのでしょうか。さておき、大人になってからの「ニキビ」は要注意!習慣から見直さないといけません。

【イラスト 古川佐保子】

今回のテーマはニキビについてでした。人の遠い先祖がハ虫類だなんて、ちょっと驚いています。ひょっとして私たちの体には恐竜と共通したDNAが残っているかもしれませんね。(ちょっと怖いです)

GENOA NEWS 2002年9月号 通巻3号

発行日 ● 2002年9月20日

発行人 ● 小澤王春

発行所 ● 株式会社 東京美容科学研究所

印刷所 ● 株式会社 プリント・アイ

株式会社 東京美容科学研究所

〒114-0024 東京都北区西ヶ原3丁目11-9

TEL : 03-3949-4141 FAX : 03-3949-8095

URL : <http://www.genoa.co.jp>

e-mail : info@genoa.co.jp

●肌と髪の安全を考える美容室